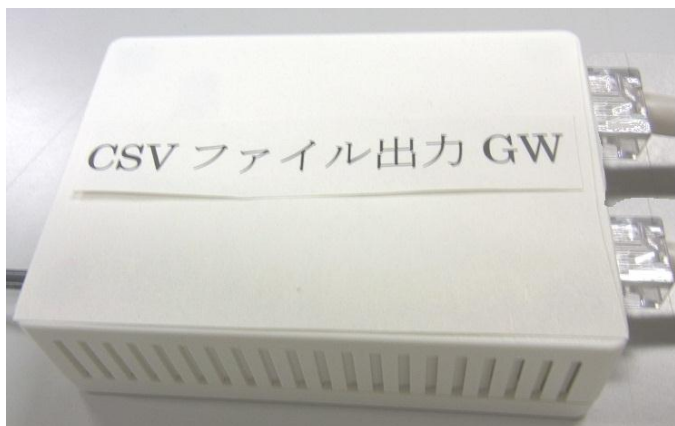




## 既存設備のCSV出力ファイルをIEEE1888で収集可能に!!

### ※イメージ写真



### イメージ

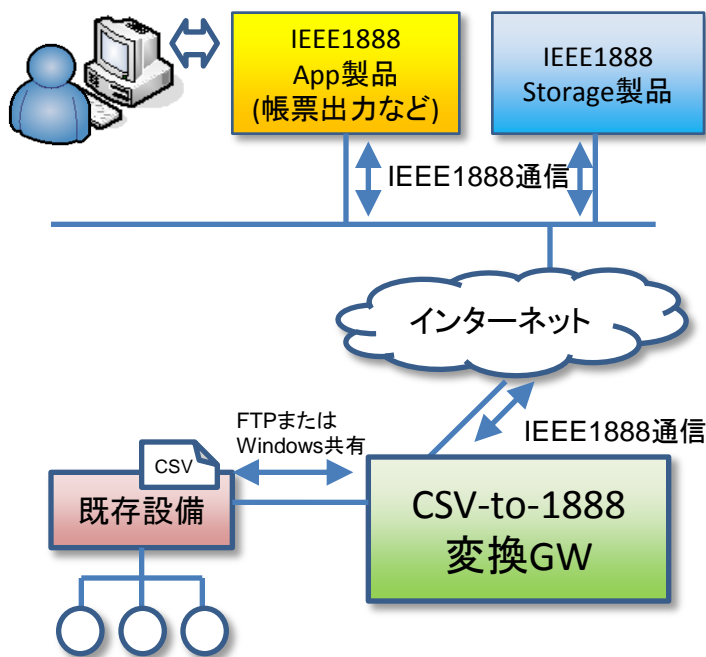
### ※特徴

FTPもしくはWindowsファイル共有方式(SMBプロトコル)でCSVフォーマットにて情報提供を行う機器から、CSVファイルを取得し、IEEE1888通信規格でインターネット・オンライン化します。これにより既存のCSV出力設備をIEEE1888対応にし、StorageデバイスやAppデバイスと連携させることで、設備の状態監視やエネルギー管理、帳票出力、設備利用形態の改善等を可能にします。

スナップショット生成型のCSV出力や、行追記型のCSV出力に対応できます。

Ethernetポートを2つ備え、片方をインターネット接続、片方を既存設備のネットワークに接続することができます。これにより既存設備のセキュリティを確保できます。

### ※応用例



### ※デバイス仕様

ネット接続	10BASE-T / 100BASE-TX (2ポート) IPアドレス設定: DHCP or 手動 HTTPプロキシ: 設定可能
CSV取得	FTPクライアント SMBクライアント(Windows共有)
CSV生成	スナップショット生成型 行追記型 ハイブリッド型
IEEE1888	WRITEクライアント(送信)のみ 最大ポイント数: 500 最大同時送信拠点: 5 再送機能: あり
電源	AC100V - 240V (50Hz/60Hz) 消費電力 1.5W
サイズ	W83.0 x H58.0 x D24.3 [mm]
動作温度	0°C ~ 60°C
質量	約70g

### ! 注意事項

本機器は CSVファイル → IEEE1888 への片方向の変換のみに対応しているGWのイメージ構成となっています。

(\*) CSVファイルへの書き出しはできません。